

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	030800	TEL	2998-9103
事業コード	青少年相談員協議会補助金	市民経済部 青少年課				
030814		グループ 青少年グループ				
補助開始年度		昭和	40	年度	→	終了予定年度 平成 年度

根拠法令	児童福祉法・埼玉県青少年相談員協議会規則								
分野別計画・指針	所沢市総合計画及び実施計画								
関連・類似事業									
総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐむまち	施策	3節 青少年育成	中柱	2 青少年へのサポート体制の整備	小柱	(4) 青少年とその家族への相談・指導の充実	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード			コード		コード				
補助開始の背景	青少年を取り巻く環境が複雑多様化し、非行問題も深刻化してきている中、より青少年に身近な立場で接しながら助言指導を行う必要が生じてきた。								
補助の目的	青少年相談員自身が研究と努力を続けながら青少年に接し、相談相手となり、助言活動を行い、健全な青少年育成に資する。							団体への加盟数	
団体における実施事業の概要	レクリエーションやキャンプなどの活動を通じて、兄姉の立場から青少年健全育成を実施する							13	単位 人

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		90	90	72
	補助額決算 (見込み含む)		90	90	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.04 人	0.04 人	
	事業費合計		458	466	
	市民一人当たり(単位:円)		1.4	1.4	

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	団体活動実績	小中学生を対象としたキャンプ・新規会員の募集活動等	年間実施回数		12	12	12	13
	成果分析	主催・共催事業実施回数	年間実施回数	目標値	13	13	13	13
				実績	12	12		
%	達成率	92.3	92.3	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2			1	

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input checked="" type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input type="checkbox"/> 変わらない		
	H20 目標設定	目標項目	自主事業の参加人数の増大を図る	達成水準	180名	時期	平成20年度中
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	青少年と身近に接しながら助言指導を行うことにより、青少年の健全育成を充実させる一方、次代を担うリーダーとなり得る人材を育成するため、青少年相談員協議会を引き続き支援していく。						
評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	青少年担当参事 若山忠明				

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日									

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し			計画コード	
	施策の体系	施策の方向				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り			計画コード	1233
	基本目標	1 子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします				
	主要課題	2 ホームタウンとしての家庭・地域づくり				
施策の方向	3 地域の体制づくり					